

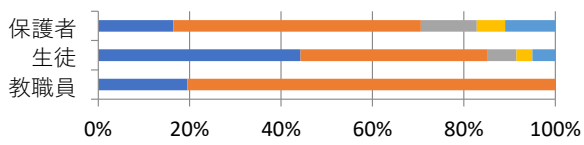
令和4年度 学校評価

■ 4 そう思う ■ 3 どちらかといえば、そう思う ■ 2 どちらかといえば、そう思わない ■ 1 そう思わない ■ 0 わからない

①いのちを大切にできる心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

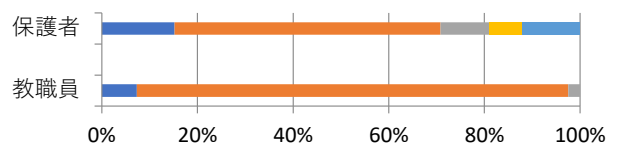
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

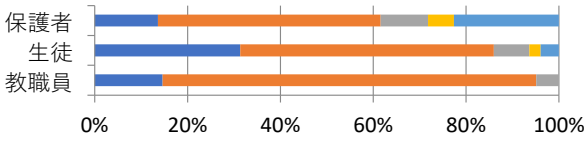


○1について、昨年度に比べ、保護者、生徒の「4」「3」の割合が13ポイント、5ポイント下がった。教職員の「4」「3」は7ポイント上がっている。一人一人を大切にされた指導や対応を行っているが、保護者、生徒が大切にされていると実感できるまでではないことがわかる。生徒理解を充実させ、実践を深めていきたい。2について、保護者の「4」「3」の割合が11ポイント下がり、教職員の「4」「3」の割合が5ポイント上がっている。道徳教育を中心とした実践を充実させるとともに、内容を学級通信や懇談会等を利用して保護者に伝えていきたい。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

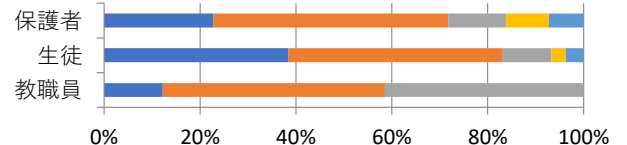
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

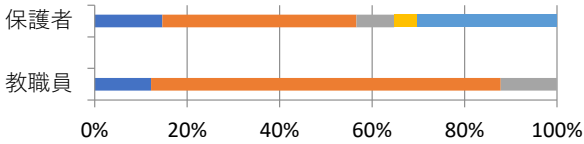


3について、昨年度に比べて「4」「3」の割合が、保護者が14ポイント、教職員が1ポイント下がった。生徒の「4」「3」の割合が11ポイント上がった。「わかる」「楽しい」授業をさらに充実させ、「習得する」「活用する」レベルへつなげていきたい。4について、「4」「3」の割合が、保護者が1ポイント、生徒が15ポイント、教職員が40ポイント下がった。授業、家庭学習等でのタブレットの活用について定期的な研修を通して指導力向上を図り、実践を推進しながら内容を保護者や地域へ発信していきたい。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

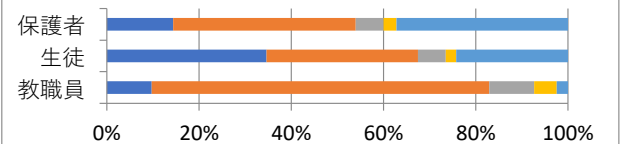
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。

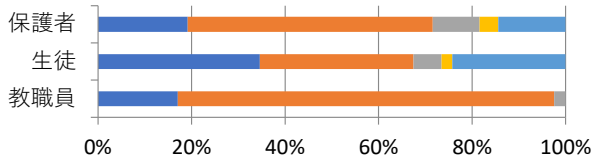


5について、「4」「3」の割合が保護者が41、2ポイント下がり、わからないが30%である。教職員が4、4ポイント上がっている。校内の支援体制の構築を更に進め、全職員で特別支援教育の視点を踏まえた教育活動を推進していくとともに、保護者への啓発や本校の取組について発信していく必要がある。6について、「4」「3」の割合は、保護者が29、9ポイント下がり、わからないが37%、生徒が24、3ポイント下がり、わからないが24%であった。教職員は2ポイント下がった。「交流及び共同学習」が実感できる状況を生み出していくとともに、その意義について啓発を進めていきたい。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

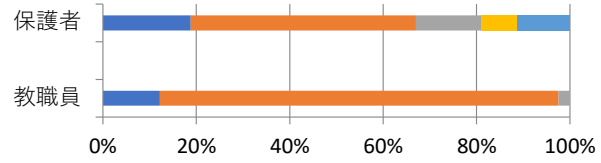
7 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



8 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

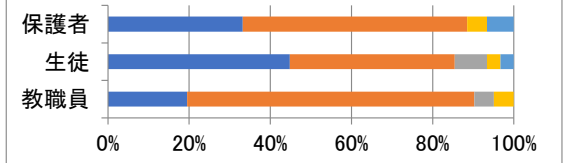


7について、「4」「3」の割合は、保護者が16.8ポイント、生徒が29.8ポイント下がっている。教職員が11.8ポイント上がっている。今年度は事故の中で一番多かったのは交通事故であった。交通マナーの育成を図りながら、未然防止を行っていくために、研修を充実させ、日々の教育活動に危機管理意識を持って臨むとともに、保護者・生徒への指導・啓発を行っていききたい。8について、「4」「3」の割合が、教職員は変わらなかったが、保護者が6ポイント下がっている。地域と連携して生徒を指導・支援していくために、教育方針・目標の共通理解をさらに徹底する必要がある。また、学校・学級通信、HPや安心メールを活用して保護者や地域に発信し、連携、協力を図っていききたい。

⑤ ウィズコロナの視点に立った学校運営等の推進

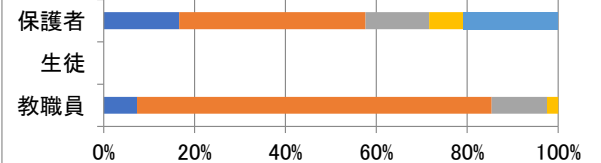
9 学校運営や行事等の取組

学校は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら学校運営や行事等を進めていると思いますか。



10 感染対策に伴う学習保障

学校は、コロナ不安の生徒や学級閉鎖等の措置をとった際の学習支援ができていますか。

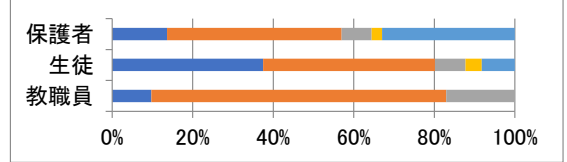


9について、「4」「3」の割合が、保護者が8.3%、生徒が8.6%、教職員が9.1%であった。「ウィズコロナ」の視点に立った学校運営や行事等の取組を、感染状況に応じてさらに充実させていききたい。10について、「4」「3」の割合が、保護者が5.8%、教職員が8.5%であり、とらえ方に差が見られる。保護者の求める学習支援について理解を図り、取組の充実を図っていききたい。

⑥ 生徒が主体的に活動できる教育活動の推進

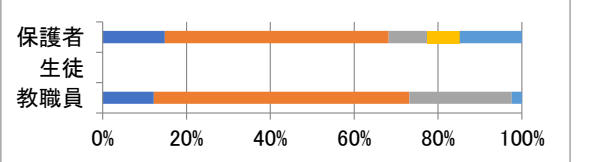
11 生徒会活動の充実

生徒会執行部を中心に、生徒が主体的に活躍できる教育活動を、学校は進めていると思いますか。



12 生徒主体の活動

様々な学校行事や部活動において、生徒一人一人が主体的に活動できていると思いますか。



11について、「4」「3」の割合が、保護者が5.7%、生徒が8.0%、教職員が8.3%であった。様々に取り組んでいる様子を、HPや学校だより、学級通信等を活用して保護者や地域へ発信する必要がある。12について、「4」「3」の割合が、保護者が6.8%、教職員が7.3%であった。生徒の主体的な活動の幅が広がるように活動の工夫に取り組むとともに、生徒の成長をキャリアパスポートを活用して保護者ととも共有していききたい。

来年度の具体的な取組について

○一人一人の生徒を大切に教育を推進するために、生徒や保護者の「思い」やニーズを理解し、寄り添いながら対応する。また、日頃のかかわりを通して、生徒について気になったことは、学年・管理職で情報の共有を行い、対応が必要な場合にはチームで対応していく体制を確立する。

○生徒に安心感をはぐくむために、道徳や学級活動及び学校行事や生徒会活動を中心に、お互いのがんばっているところを認め合うことができる取組を推進し、共に成長していく集団づくりを行う。また、生徒が肯定的、建設的、解決志向的になっていく「言葉かけ」を教育活動の中で行う。

○新学習指導要領を踏まえ、生徒に「わかる」「できる」という喜びを実感させ、学ぶ楽しさを味わわせるために、毎時間の授業を充実させる。そのために、教材研究とタブレット等のICT機器の効果的な活用を中心とした授業改善、評価の在り方の理解を深め、校内研修等の充実を図る。

○PTAや地域の諸団体と連携しながら、挨拶、交通マナーなどの規範意識を育てる指導の充実を図る。

○生徒の成長した部分を学校HPや学校通信、学級通信等で発信し、積極的に保護者へ伝えていく。

○ウィズコロナの視点に立った学校運営や行事等の在り方を工夫していくとともに、コロナ等により欠席しなければならない生徒の学習保障について見直し、改善を図る。

学校関係者評価

評議員の意見・質問

【学校評価の結果について】

○先生たちも、試行錯誤しながら取り組まれているのがわかる。多くのことに取り組まなければならない学校は大変だと思うが、自信をもって、愛情をもって指導して欲しい。迷うと保護者には伝わらない。すべてにいい結果が出るとは限らないので、目標をしばって取り組み、成果を上げて欲しい。

○本当は保護者が自ら情報を求めて学校に関わることも必要である。しかし、余裕がなく、子どもとどう接していいか迷っている状況も保護者にあるのではないかと。保護者・学校・地域の3者で子どもを育てていけたらと思う。

○コロナ禍で授業参観や行事等で保護者が来校する機会も減り、「わからない」と回答する保護者が多いのは当然だと思う。

【これからの託麻中へ】

○ネット犯罪等、怖い事例も増えている。本当に怖いものなのだとすることを、子どもたちには知っておいてほしいので、南署等と連携してSNS関係の指導を進めて欲しい。

○手取り足取り教えるのではなく、「考える」教育を目指してほしい。実際の入社試験の際に、自由テーマで記述を行うと何も書けない若者が増えているといわれている。自分で道を拓いていける力をつけてほしい。

○部活動においては、個人だけではなく団体でも成果を上げているのは大いに評価すべきだと思う。しかし、部活動は、先生たちの負担にならないよう学校から切り離してもいいのではないかと考える反面、急ぎすぎてはいけないと思う。子どもたちのために、部活動のよさを残して（生かして）ほしい。

○集団宿泊や修学旅行、文化発表会等、コロナ禍でも工夫しながら学校行事が実施され、生徒の生き生きとした表情にその成果が表れている。ぜひ今後も続けてほしい。

○生徒には、高校はどこに行ってもその人の頑張り次第だと伝えてほしい。進学した場所ですっかり根を張り、自分のためにたくさんのお話を吸収できることが重要だと思う。